

子宮頸がん征圧をめざす
専門家会議

Annual Report 2015

CONTENTS

2015年度 総括	1
2015年度 活動一覧	2
提言、調査	3
セミナー、啓発	4
啓発物配布と情報提供	7

2015年度(2015年1月～12月) 総括

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議(以下当会議)は2008年11月設立以来、子宮頸がん検診とHPVワクチンの普及を目標に掲げ活動を展開している。

【目標】 *2012年度より変更

1. より精度が高く費用対効果にすぐれた子宮頸がん検診(細胞診+HPV検査)を確立し、子宮頸がん検診受診率50%以上をめざします。
2. HPVワクチンの公費負担年齢における接種率向上と、キャッチアップ世代へのHPVワクチン接種を推進します。

2009年はHPVワクチンの正式承認を獲得し、2010年は子宮頸がん検診受診率向上、HPVワクチン公費負担の実現に向けて、他の啓発団体と連携しながら政府への提言を活発に行った。また2010年から、世界最大の子宮頸がん学会と啓発を推進する国際会議のフォーラムに啓発団体などを派遣する「EUROGIN & WACC Forum参加・取材ツアー」を実施した(2013年まで)。

HPVワクチンの公費負担が実現した2011年は、HPVワクチンについての理解を深めていただくため、セミナーやウェブや新聞広告などを通して正しい情報提供に努めた。また、継続審議になっている子宮頸がん予防法案の実現に向けての提言や、企業との連携キャンペーンにも注力した。子宮頸がん予防活動奨励賞を創設し、募集を行った。

2012年は、子宮頸がん予防活動奨励賞の表彰式を実施、要望書による提言活動、第5回目の自治体アンケート調査、自治体・議員向けセミナーにより成功事例を広める活動を展開。一般公募ポスターによる若い女性への啓発、養護教諭を通じた保護者へのよびかけ、医療者と啓発団体との交流の機会となる日本版WACCの初開催のほか、啓発資材や情報を活用しやすくするためホームページをリニューアルした。併用検診の医療経済についての検討も開始した。

2013年は、これまでの活動を継続するとともに、HPVワクチンの意義、効果、安全性を伝えるためのセミナー開催やウェブサイトの作成を行った。6月に厚労省のHPVワクチン接種の積極的勧奨の一時差し控えを受けて、HPVワクチン接種を継続すべきか悩む人へのアドバイスや、HPVワクチンに関する世界の報告を日本語版で紹介するなど、科学的に正しい情報提供に努めた。また第6回目の自治体アンケート調査も行った。

2014年は、WHOステートメントやフランス当局の声明を紹介する一方、国内外の専門家による国際シンポジウムやセミナーを開催し、HPVワクチンの有用性、安全性についての正しい情報提供に努めた。また、一般市民のHPVワクチンへの不安や誤解の解消のため、子宮頸がんの正しい知識を伝える啓発冊子を作成し、提供を開始。ザビエル・ボッシュ先生によるEラーニングの日本語版作成への準備も開始した。第7回目の自治体アンケート調査も実施した。

2015年も、子宮頸がん予防活動奨励賞の募集および表彰式を開催。HPVワクチン接種再開の要望をとりまとめ、これらに関する適切な報道をメディアに働きかけた。また、メディアラウンドテーブルを開催し、HPVワクチンの正しい理解とその報道についてのディスカッションを行った。これまで継続活動している幼稚園や保育園を対象にしている母の日キャンペーンでの母の日カードの配布、Eラーニングの日本語版作成に向けての作業、第7回目の自治体アンケート調査集計結果の発表、第8回の自治体アンケート調査を実施した。

2015年度 活動一覧

3月30日	厚生省記者クラブへの適正報道依頼	医療関係者270名以上の賛同を得て、HPVワクチン接種再開を要望し、これに関しての適切な報道を報道機関に依頼した。
4月8日	第4回子宮頸がん予防活動奨励賞 表彰式	子宮頸がん予防で成果をあげた活動を行った自治体、企業、啓発団体、個人、メディアに対して奨励賞を2011年より創設。第4回目の受賞者の募集および表彰(受賞者3名)を実施した。
4月	自治体アンケート調査(2014年度実施) 集計結果発表	2014年度に全国の自治体に対して実施した、子宮頸がん検診受診率、子宮頸がん予防ワクチン接種率等のアンケート調査の集計結果を発表した。
4月5日	「子宮頸がん検診よびかけ母の日キャンペーン」	私立幼稚園・保育園などを対象に母の日に渡すメッセージカード(母の日カード)の配布キャンペーンを実施した。都内の6幼稚園に約1000枚送付。
6月～	E-oncologia翻訳プロジェクト	E-oncologiaの教材確認および日本語翻訳に向けての打ち合わせを実施した。
10月19日	議連全国大会への協賛	3月4日に発足した乳がん・子宮頸がん検診促進議員連盟応援団主催の「第1回地域と国をつなぐ乳がん・子宮頸がん検診促進全国大会」開催に協賛。
11月12日	2015年度自治体アンケート調査実施	子宮頸がん検診受診率、子宮頸がん予防ワクチン接種率等を全国の自治体に対してのアンケート調査実施した。
11月27日	メディアラウンドテーブル	HPVワクチンの有用性を専門家からの正しい情報として伝えることと題し、メディアとの意見交換を実施した。
12月11日	厚生労働大臣への提言	医療関係者300名以上が賛同した、HPVワクチン接種再開の要望書を厚生労働大臣へ提出した。報道機関に適切な報道を依頼した。
通年	啓発物の提供	医療者向けのスライド(15件)や一般向けのポスター(5件)や小冊子(4件)を依頼に応じて提供した。また、鳥取県東部福祉保健事務所作成のパンフレットに出典として協力した。
通年	プレスへの情報提供、取材・監修協力	メディア、企業、団体等の依頼に応じて取材・監修等の協力。
通年	Webサイト・携帯サイトによる情報提供	医療者・自治体担当者・一般向けに子宮頸がんに関する最新情報を随時提供。
通年	議員や自治体等への情報提供	議員への面会、情報提供を随時提供。
通年	後援依頼への協力	下野新聞社主催の「子宮頸がん“ゼロ”キャンペーン2015アシタのワタシ Sutekilに」、NPO法人ラサーナ主催の子宮頸がん予防啓発「高崎美スタイルマラソン2015」に後援した。

1. 提言

「子宮頸がん予防ワクチン接種再開を要望」

医療関係者270名以上の賛同を得て、HPVワクチン接種再開を要望し、これに関しての適切な報道を報道機関に依頼した。

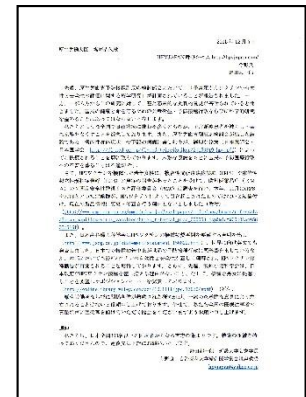
■日時: 2015年3月30日(月)



厚生労働大臣へ子宮頸がん予防ワクチン接種再開の要望書提出

医療関係者300名以上が賛同した、HPVワクチン接種再開の要望書を厚生労働大臣へ提出した。

■日時: 2015年12月11日(金)



2. 調査

第8回 自治体アンケート調査実施

平成26年度の「子宮頸がん検診受診状況および子宮頸がん予防ワクチン公費助成接種状況」について全国の自治体に向けアンケート調査を実施した。

■調査期間: 2015年11月～2016年3月

■調査対象: 全国1741自治体

■回収状況 有効回収数 1077自治体(回収率 62.0%)

3. セミナー、啓発

第4回 子宮頸がん予防活動奨励賞 表彰式

子宮頸がん予防に取り組み、成果をあげた団体・個人を表彰、その成功のポイントを広く公開し、今後の啓発活動に活用してもらうため、2011年に『子宮頸がん予防活動奨励賞』を創設。第4回奨励賞の表彰式を開催。3団体が受賞した。

- 日時: 2015年4月8日(水) 15:30～18:00
- 会場: 東海大学校友会館(東京・霞が関)



第7回 自治体アンケート調査集計結果発表(2014年度実施)

2014年度実施の第7回「子宮頸がん検診受診状況」及び「子宮頸がん予防ワクチン公費助成接種状況」について全国の自治体にアンケート調査を実施した集計結果の発表をした。

- 日時: 2015年4月8日(水)
- 会場: 東海大学校友会館(東京・霞が関)



第1回 地域と国をつなぐ乳がん・子宮頸がん検診促進全国大会へ協賛

2014年3月4日に発足した乳がん・子宮頸がん検診促進議員連盟応援団主催で地方議員・自治体首長を対象に「乳がん・子宮頸がんの基礎と検診のあり方」の講演を行った。開催にあたり会場スタッフとして協力した。また、「子宮頸がん基礎と検診のあり方」の講師として実行委員の鈴木光明が講演した。

- 日時: 2015年10月19日(月) 13:00～18:00
- 会場: 虎ノ門ヒルズ フォーラムB

メディアラウンドテーブルディスカッション

“HPVワクチン「日本の常識は世界の非常識」啓発・教育をどうするか？”をテーマに、最新記事等の資料をもとに専門家から正しい情報を伝えるとともに、この問題の解決の道を探るべく、ジャーナリストや記者の方々と少人数でのディスカッションをした。

- 日時：11月27日（金） 18:00～20:00
- 会場：東京国際フォーラム ガラス棟

E-oncologia翻訳プロジェクト

E-oncologiaの教材の確認および日本語翻訳に向けての打ち合わせを実施した。

「子宮頸がん検診よびかけ母の日キャンペーン」実施

2010年より毎年母の日の頃に実施。幼稚園や保育園などに、母の日に子どもから大好きなお母さんに渡す母の日カードの配布するキャンペーン。母の日カードには子宮頸がん検診よびかけのメッセージをつけている。都内6幼稚園、約1,000枚配布した。

- 4月・5月
- カードイラスト：藤本四郎



啓発冊子「あなたに知ってもらいたい 子宮頸がんのこと」配布

HPVワクチンの有用性に関する一般説明用の素材を配布する。ウェブサイトで紹介し、広く活用を呼かけている。現在は、依頼のあった医療者、啓発団体・個人に配布しており、患者さんや一般への啓発に活用されている。2015年度は4件の依頼があり、約300枚を配布。

■通年配布



啓発物 ポスターの配布

子宮頸がん検診受診の促進とHPVワクチンの接種に関するポスターの配布。ウェブサイトで紹介し、広く活用を呼かけている。現在は、依頼のあった医療者、啓発団体・個人に配布しており、患者さんや一般への啓発に活用されている。2015年度は6件の依頼があり、約700枚配布。

■通年配布



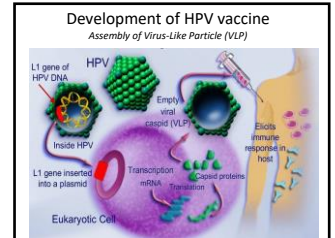
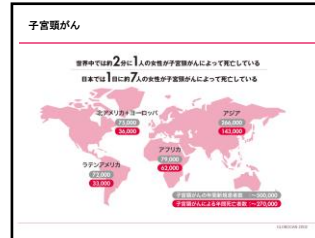
札幌レディースクリニック様



医療者向け子宮頸がん予防説明用スライドの提供

子宮頸がん予防についての情報をまとめたパワーポイント資料。医療者に講習会などの説明資料としてウェブサイトで紹介し、データをダウンロードし活用できるように提供している。
2015年度は15件の依頼があった。

■ 通年配布



医療専門家向け情報提供DVDの提供

子宮頸がんの精度の高い併用検診について、わかりやすくまとめている。医療専門家に講習会などの資料として活用できるようにウェブサイトで紹介し、提供している。

■ 通年配布



一般女性向けウェブサイト「子宮頸がん講座」での情報提供

一般女性に子宮頸がんに関する基礎知識を提供するため「子宮頸がん講座」を携帯とウェブで展開している。